

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 17 日

事業所名 こどもプラス小祿教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	運動する部屋と静かな活動をする部屋もしっかり分けてあり、上手に活用出来ている。	
	2	職員の配置数は適切である	5	2		当日、職員に休みが出たり、送迎時、利用児童が多い時に職員が足りないと感じる時があるので、今後、職員の増員を検討していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	おもちゃや道具入れも写真等で視覚化出来ていて、子供達自身で選んで遊ぶ事が出来ている。	室内、段差があるので、傾斜をつける等、対処出来る所は今後改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	一般家庭のような作りなので、子供達も安心して過ごせている。生活空間の改善を女性職員が行ってくれている。	トイレが離れているのが気になるので、児童がトイレに行く際は職員が個別で見守りを行い対応していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	朝・昼・終礼で予定の確認と振り返りを行っている。	モニタリングの更新に合わせて児童1人1人の話をする事はあるが、話し合う機会をもっと増やしたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	毎年行っている。保護者の意向等に関しては、保護者との会話で収集した情報を業務改善に反映させている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	毎年行っている。日頃の支援や療育をブログでも発信している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	意見箱を設置している。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	月に2回動画研修を視聴している。	
適応	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	児童や保護者のニーズを確認し、児童発達支援計画の作成を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	アセスメントシートをもとに聞き取りも行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	相談員のサービス等利用計画・障害児支援利用計画をもとに支援内容を作成し、事業所職員やご家族からの意見をもとに具体的な支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	活動プログラムは担当制で行い、活動内容を共有して取り組んでいる。	全体で共有出来ていない時があるので、朝・昼・終礼やグループLINEなどで共有出来るようにしていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
切 な 支 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	担当制で、それぞれが考えた活動を実施している。土曜日はイベントを行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	個別活動や集団活動で、どのような支援が出来るのかを想定し、児童発達支援計画を作成する事が出来ている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	朝礼で午前中の流れ、人員配置の確認、昼礼で午後利用時の注意点や流れ確認を行っている。	ミーティングで内容確認、共有出来ていない時があるので、今後はそのような事を減らしていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	終礼でその日の振り返りを行っている。	児童の小さな変化はあまり話せていないので、今後共有してより良い支援に繋げたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	個別日誌を書きながら、他の職員へ聞き取りなどして改善策を探している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	目標だけでなくアプローチ面の変更も話し合っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理責任者が職員より情報収集して参加し、内容はミーティングで共有している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	5		必要な児童は今後行っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当児なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当児なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	保育所等訪問支援や担当者会議、電話などで情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	3	該当児なし。	現時点では、移行支援は実施出来ていないが、今後進学する児童に対しては行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	専門機関と情報共有を行っている。	研修も必要であれば、受講を検討するようにしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6	出来ていない。	コロナ禍という事もあり、なかなか交流が持てずにいたが、今後は地域との交流も増やしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7	出来ていない。	今後、機会があれば参加を検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	オフィシャルLINEで利用状況を報告し、送迎時、申し送りを行っている。ご家族から希望があれば、個別で話す時間を設けている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4	相談があれば個別で対応し、自宅での支援の提案を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	契約時、児童発達支援から放課後等デイサービスに切り替わる際、個別でご家族に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	それぞれの児童の特性に対して、事業所でどう支援していくかを説明し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	保護者から相談があれば、都度対応し、内容を職員で共有して必要な助言と支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	コロナ禍でもあり、実施出来ていない。	今後、保護者同士が交流出来る場を設けていけるように検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	相談や申し入れがあった場合は、内容を確認し、迅速かつ適切に対応している。口頭だけでなく、文書で伝える等もしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	おたよりを毎月作成し、発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	1	情報漏洩のないように徹底している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	児童に対しては、カードやイラストで視覚化して、意思の疎通や情報伝達が出来るように配慮している。保護者には、それぞれにあった連絡の取り方（LINEや電話など）で配慮しながらやりとりを行っている。	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	去年の春ごろに運動療育の体験会を実施している。定期的に運動教室に参加出来る機会を設けている。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	マニュアルを確認して発生時にその流れで対応している。	マニュアルに基づいた訓練は行っていないので、今後訓練を検討して実施していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年2回避難訓練を定期的に行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	1	6	こどもの状況確認はアセスメントシートなどで行っているが、予防接種の状況は確認していない。	事前のアセスメントでこどもの状況確認は取れているが、職員へ周知出来ていない部分があるので、今後はミーティングで確認する等して対応していきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	医師の指示書の確認は行っていないが、食物アレルギーの児童を把握し、職員で情報共有出来ている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	担当を決め、ヒヤリハットの振り返りを行っている。	ヒヤリハットの事例検討は時間の確保が難しく出来ていないので、今後時間を設け、実施していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	動画研修や事例検討会を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2		